

研修名 **産学連携推進員育成講座**  
 研修形態 集合・8時間（4時間×2日）会議型ワークショップ  
 研修環境 本研修用の共有ドライブの設定、すべてのワークシート、資料をドライブ上で設定、共有  
 事前学習 あり・動画視聴および自校のディプロマポリシー・取り組みの整理（事前授業ワークシート）

<本研修のメーガーの3つの質問>

- ①どこへ行くのか？ 産学連携を推進する先生方が企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、その実現に必要な考え方や視点を得、カリキュラムに実装する準備の機会とする
- ②辿り着いたかどうかどうやって知る 成果物をもって（自校のカリキュラムの課題と対応策・評価計画をアウトプットする）
- ③どうやってそこに行くのか？ キャリア教育の視点（カリキュラムデザイン・未来志向・評価計画）を応用して

**第1日** ※ここではグループ4名、4グループ想定

時間	内容	ねらい	指示	進行	注意点
13:00-13:11	開会あいさつ、ネットワーク接続確認				
13:10-13:4	講師自己紹介、タイムテーブル確認 研修の目的、キャリア教育の観点の確認 受講者自己紹介（受講者のWill）	受講者の受講目的の確認・目標の意識化		全員でWillの共有ができる人数によって時間調整とよい	
<b>社会で必要となる力を育てるために職業実践専門課程の学び（≒カリキュラム）は現在なにができていて・今後どうあるべきでしょうか？</b>					
13:40-14:11	ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有	受講者の事前学習のふりかえり、各メンバーの背景・現場理解を深め、研修に対する期待値をあげる	自学科の人材像、現在の実施内容、課題感をお互いに共有し、意見交換しましょう。	説明 2分 グループ共有 15分 全体共有 1G 2分 まとめ 5分	子料を超えて共通する内容は、受講者共通の関心事として取り上げて全体で共有する 事前ワークシート準備
<b>休憩10分</b>					
14:20-15:0	シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点	他者の実践ケース（=シナリオ前半）をもとに、カリキュラムデザインに必要な視点を理解する（4つのカテゴリ）	ディプロマポリシーでめざす人材を育てる機会として産学連携はどうあるべきか。 シナリオ（前半）を読み、カリキュラムのポイントを分析しましょう。	ワーク説明 5分 読み取り分析 5分 G共有 10分 G意見交換 10分 全体共有 1G2分	全体共有は、全グループの代表に発言してもらい（個人で考え、Gで共有し、全体でシェアするという手法に慣れる） ワークシートの表（左列）
<b>休憩10分</b>					
15:10-15:4	シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点	他者の実践ケース（=シナリオ後半）をもとに、カリキュラムデザインについてより深く理解するとともに、自分ならどのようにアップデートするかを検討する	シナリオ（後半）を読み、実践のよいところをさらに分析するとともに、どのようにカリキュラムをアップデートできそうか、やってみようか、考えてみましょう。	ワーク説明 3分 読み取り分析 10分 グループ共有 17分	ワークシートの表（右列）
15:40-16:00		気づきを他者と共有することでシナリオの内容の理解を深め、育成したい人材像（資質能力）から逆算し、カリキュラム全体をどのように捉えるか、どんなポイントを重視すべきかを客観的に整理する	シナリオ分析を通して、職業実践専門課程のカリキュラムデザインにおいて最も重要なことは何だと考えますか？	全体共有 15分 まとめ5分	ワークシートにメモ
16:00-16:3	産業界のニーズを知る	育成したい人材像（資質能力）の育成に必要な視点として、「未来社会で求められる人材」に関する情報提供をし、<育成したい資質能力を意識した産学連携（企業連携）>の解像度を上げる	未来社会を見据えたとき、学科の学びはどんな分野につながりますか？その分野にはどんな変化がありそうですか？	レクチャー 10分 個人ワーク 10分 G意見交換 10分	
16:30-16:50		変化する社会・自身の学科に関連する業界の変化を見据えたうえで、産学連携（企業連携）のパートナーを選ぶかを言語化する	未来社会を見据えたとき、連携する企業（外部リソース）はどんなことを重視して選ぶべきでしょうか？	個人ワーク 10分 （ふせん） ふせん貼り付け 10分	企業に「お願い」するのではなく、学校が求めることを提供できる企業を学校が「選ぶ」という意識
16:50-16:5	ふりかえり（チェック）	（受講者の理解度や納得度を把握し、2日目のサポートにつなぐ）		個人ワーク 5分	自己チェックのためのFormを用意する必要がある
16:55-17:0 閉会挨拶、明日のアナウンスなど					

**第2日** ※ここではグループ4名、4グループ想定

時間	内容	ねらい	指示	進行	注意点
9:00-9:05	今日のゴール、タイムテーブルの確認、第1日目のふりかえり	研修2日目に学ぶ内容や流れの確認 タイムテーブルを見ながら前日の内容を思い出し、今日の期待値を高める。	育成したい人材像、産業界のニーズのレンズで、現在の学生を見つめなおしたとき、カリキュラム・産学連携は、どのようにアップデートすべきでしょうか？	説明5分	適宜アイスブレイクをいれてもよい
9:05-9:40	これからの「企業との連携」はどうあるべきか	未来志向で「企業との連携」の目的をあらためて考え、「今までの連携」に固執せず、学校のめざすカリキュラムから逆算して連携すべき企業・人材を検討する。	未来志向で考えると、今後「企業との連携」は、どんなことにフォーカスをすべきでしょうか？今後どんな可能性があるでしょうか？	ワーク説明 2分 個人ワーク 10分 G共有 10分 全体共有 1G2分	ワークシートにメモ
9:40-10:40	自学科のカリキュラムマネジメント：評価規準（企業連携）	未来志向で「企業との連携」をするためにも、ディプロマポリシーの資質能力に紐づく評価項目と規準の設定が必須であることを認識する	どのように判断できるか=効果測定の実現性 評価規準の設定 評価計画の策定	レクチャー 10分	
<b>休憩10分</b>					
10:50-11:3	自学科のカリキュラムマネジメント：評価規準の設定と評価計画の策定	実際に評価計画を立てることで、その難しさや重要性に自ら気づく	資質能力の育成をめざしたカリキュラムとしてPDCAを回し、職業実践専門課程の目標を達成するために、プログラムの評価規準を検討しましょう	ワーク説明 3分 個人ワーク 40分 ※バツファを含め合計45分程度	適宜グループメンバーと共有しながら進めてもよい（受講者の特性を見て検討） ワークシートの表
<b>休憩10分</b>					
11:45-12:2	自学科のカリキュラムマネジメント：評価計画の共有&相互FB	実際に評価計画を立て他者と共有することで、カリキュラムの改善につながる評価についてポイントを理解する	お互いの評価規準を交換し、ディプロマポリシーから、どのように人材像、重点育成資質能力の定義をしたのか、「評価の観点」「評価計画」「評価手法」について、意見交換、建設的フィードバックをしてみよう	ワーク説明 3分 G共有 22分 何名か指名しての共有～ポイントのFB 10分	ワークシートの表に追記メモ（他者FB）
12:20-12:4	課題に対する対応策	評価規準から逆算し、現在責任化している課題を踏まえ、カリキュラム全体を改善していくにあたり、まず、自分が実践すべきことを見極め言語化し、次のなる自分の目標設定を行う	設定された評価規準に照らし、カリキュラムを改善していくために現状の課題にどのように対応していきますか？	説明 2分 個人ワーク 18分	ワークシートの表
12:40-12:5	全体共有・2日間の学びのふりかえり	全体で学びを共有し、満足感につなげる	今回自分にとって学びになったこと 課題に対して何をまずやるか （対応策のうちファーストアクション）	全体共有 1分	人数により時間を調整
12:55-13:0	総括・閉講挨拶・アンケート	（受講者に今後のアクションとそのサポート、学校・学科として期待すること等、実践を後押しするとともに、研修に対するアンケートを取り、研修の改善を図る）			アンケートは各校の実態に合わせて設定